

裏

桜蘭高校ホスト部ヒミツ倶楽部

恋愛漫画家





前作までのあらすじ

海合宿の際、何となく流れと勢いでセックスしたハルヒと環。

その後も、何となく関係が続いていた。

が、それを鏡夜が察知。

部の全員でハルヒの相手をすることになった。

ショタ直球のハニー先輩・巨根なモリ先輩・悪戯ばかりの光と馨
医療プレイでドSの鏡夜・何だかんだで肉体的には一番馴染んでる環。
更に、強面なのにやけに初々しいボサノバ君も仲間入り。
それぞれ多種多様なプレイの相手をこなすハルヒは、
「段々馴染んじゃってるけどいいのかなあ」と多少疑問を感じつつも
まあいいか、と持ち前の順応力で日々を過ごすのだった。



桜蘭高校ホスト部ヒミツ俱楽部



初めて先輩に裸を晒した時、自分は徹底的に身体を調べられた。身体検査のデータなんか入手してるはずなのに、一から測り直されて、更には各パーツごとのサイズも計測された。

そこまでは、恥ずかしくはあったけど病院で行われる診察の延長線上のような感じだったから、割と自然に受け入れられた。

けれど、それが終わり、鏡夜先輩が全裸になり、自分を触り始めた時から状況が一変した。

身体の隅から隅まで、全ての性感帯が無理矢理掘り起こされたのだ。くすぐったさを、力技で快感へと変化させられる苦しみに、身体も脳も精神も耐え切れずに、何度も無く失神しそうになり、終には失禁した。

人生で一番泣いた。
号泣だった。

その後、取り決めが為された。

- ・調教を受ける時は首輪をする
- ・調教中は「ご主人様」と呼ぶ
- ・それ以外の時は普通の関係でいる
これを守っておけば、どれだけ身体が変わってしまっても、日常では普通でいられるから、と。

確かに、それ以降信じられないほどの苦痛や羞恥で身体を染め抜かれても、首輪を外せば、いつも通りの日常の「藤岡ハルヒ」でいられた。

先輩には感謝してる。
男性の身体を精神を教え込まれたからみんなとのセックスも楽しめるようになったから。
「私が女である」事の悦びを教えてくれたから。

そして今日も。
先輩に、私は、変えられる。



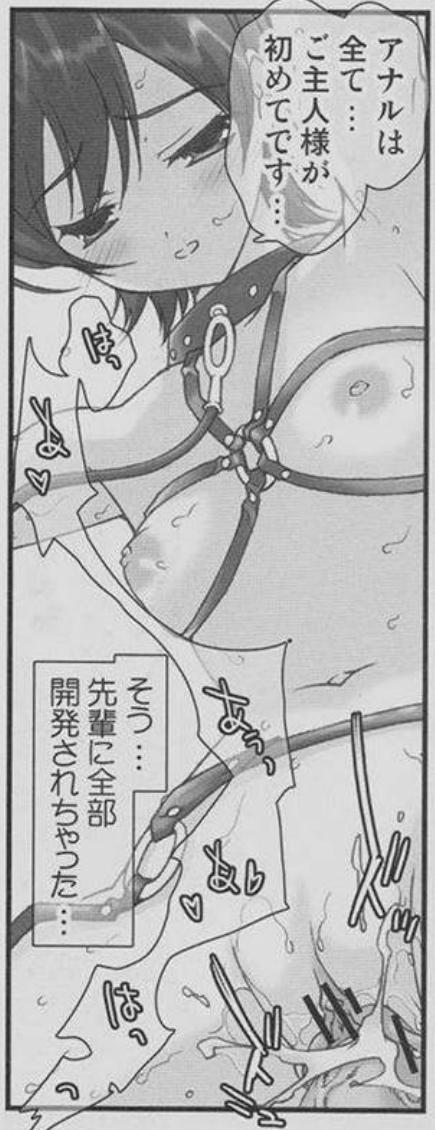




出ちやうつ……！

何これ……
勝手に
出ちやうつて
の變な感じ……





あつ
先輩っ！

中止する
やめよう！

何だかんだ言って、鏡夜先輩は優しい。

自分を調教してることも、もちろん自分の興味を満たすものもあるだろうけど、それ以上に自分を含めたホスト部みんなの楽しみのためなんだと思う。

健康管理はしっかりされてるみたい。事実、身体の調子はいつも良いし。

授業や受験に影響が出ないように、時間をとって勉強も見てもらってる。

それは、他の部員たちも同じだ。

ハニー先輩とモリ先輩は、最上級生らしく部のみんなを見守ってくれてるし。

光と馨も、余計なイタズラとかをしてちょっかいを掛けてくるけど、ちゃんと許容範囲を図りながら、周りを楽しませるようにやってる。

カサノバ君は部員じゃないけど、自分の事を心配してショッちゅう様子を見に来てくれる。

環先輩は……

ウザいしうっとおしいしうるさいし、でも、いつだって誰よりも真剣で真面目に部長としてみんなを心配してる。とても分かりにくいけど。

全部、何となく分かってた。でも、実際に肌を合わせてみて、それで確かに実感できた。

自分は、みんなに大切にされている。だから、自分もみんなを大切にしたい。

恥ずかしいから、中々直接は言えないけど。

みんな、大好きです。

だから、自分に出来る事は、出来るだけみんなにしてあげたい。

今の、正直な気持ち。



ハニ一先輩が
「アナルを弄り合いながら
あまんこに中出ししたい」
と言うので、色々と試してみて
この体位になった。

最初は苦しかったけど、慣れると
普段と違った感覚が何だか新鮮で
悪くない気がする。

…それに、バックするよりも
より「犯されてる」感じがして
被虐感が増すみたい。

最近、自分のマゾの部分が
引き出されつつあるのを
より強く自覚してしまった…

どうです先輩?
おちんちんは
いつもより
硬いですけど

いい：
さあ、ハルちゃんの
まきゅやんとトロ
トロやんかんで…
じんじんやんかんで…

ありがとね

ふふ
アナルが
ヒクヒクして
カワイイな

うわ
凄い勢いで
流れ込んで
きます

どう
いたしまして
またしましようね

はー

はー

モリ先輩との立ちバック。

自分の体重が軽いのと、身長差があるせいで足が宙に浮いてしまう。

そうなると、自分では身動きは制限されてただ先輩にされるがままになる。

この状態がまた、被虐感を煽らせる。

まるで自分が、射精するために存在するいやらしい人形のように思えてしまうのだ。初めはそんな事考えてなかつたのだけど、前に双子にダッヂワイフの存在を知られた時に「今のハルヒも同じ感じだね」と言われ、その時は怒って二人を叩いて済ませたのだけど。

今、自分がダッヂワイ夫となっている想像で昂ぶり陰部を濡らせている。

はい
奥の方で
出すなら
出して
ほしいです
…

いそハ
るヒ
かそ
ろ？
…

モリ先輩の硬くて大きなペニスに、興奮していつも以上に粘度の増した自分の愛液が塗され、ヌルヌルと出たり入ったりしている。

自分の淫乱さに呆れてしまう。

いやらしい自分。

その事実がまた自分を昂ぶらせる。

ああ
先輩つ！
先輩のが大き過ぎて
締め付け切れないので
押し取りたいのに



お肌にいいから
ちゃんと飲んでね



双子はいつも
変わった衣装でコスプレさせて
自分とセックスをする。
今日はやたらと布地の少ないビキニ。
「ブラジル水着」と言うらしい。
そういうやリオのカーニバルの中継で
こんなのを着た女性が踊ってる。

「ハルヒは俺たちが躍らせるね」って…

バカだなもう。
まあでも、最近はそういうのも…
嫌いじゃない、かも。
おもちゃになってあげるのも
悪くないかな、と思ってる。



環先輩とは正常位が多い。

初めてした時からもそうだし、みんなとし始めてからも割と色々な事を試したけど、結局この形に落ち着いた。

先輩の気持ち良さそうな顔を眺めながら受け入れるのが何となく嬉しくて安心する。

先輩の射精を受け止めながら絶頂する時は全身がドキドキして胸がいっぱいになる。

ハニー先輩は「それは幸福感だね♪」だって。
どうなのかな。

ハルヒ：
そんなに足で
挟まれると
動きが：

ああ
すみません：
つい先輩と密着したくて
足で絡み付いちゃいました

環先輩に
中で出して
ほしくなると
無意識に
しちゃうん
ですよね：

俺のが：
中に欲しいのか？

…ハルヒっ♥

…ええ
そうです

ニンニン
アヤジ…
ベ…



お疲れさまでした！

前作のヒミツ俱楽部ですが、キャラが多かったために、一人当たりの

エッチシーンがどうしても薄くなってしまいまして。

もっと濃い部分で描きたいという欲求が残ってしまいました。

と、言うことでその不満を解消するために続きを描く事にしました。

その中でも、一番の重吾人物である鏡夜をピックアップ。

マニアックな攻めを描いてみました。

描けた事に関しては、概ね満足しています。

ただ、もっと言葉使いに凝りたかったという後悔は残っています…

かなり勢い任せでやってるので、後で読み返して「ここは違つたな」とか
思いそうですが、まあいつもの事。

時間の限られる中では最大限やり切れたと思います。

やーもう、描いててハルヒが可愛くてしょうがなかった！

嫁に来てくれないかな。

子供4人くらい作って賑やかな家庭にしたい。

一人っ子の寂しさは肌で感じてるだろうから、それを払拭してあげたいな。

などなど取りとめも無く。

楽しんでもらえたのなら嬉しいです。

次の機会がありましたら、またよろしくお願ひします。

製作
恋愛漫画家

発行日
2006年12月31日

印刷
Power Print

連絡先
hironasu@mud.biglobe.ne.jp

HP
<http://www.renai-manga.com/>

無断転載・複製はお止めください

裏

おうらんこうこうホストクラブらヒミツクラブ
桜蘭高校ホスト部ヒミツ俱楽部

桜蘭高校ボスト部ヒミツ俱楽部

裏

恋愛漫画家